

第 1 1 回調査・研究企画調整会議 議事概要

(注：本会議は未公表の研究結果の詳細に言及して議論が行われたことから、非公開で行った。

よって、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)

- 1 日時：平成 24 年 6 月 28 日（木） 17：00～17：30
- 2 場所：食品安全委員会 22 階中会議室
- 3 出席者（8 名）五十音順
圓藤 陽子（独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）
尾崎 博（国立大学法人東京大学農学部教授）
鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進室室長）
熊谷 進（食品安全委員会委員長代理）
小泉 直子（食品安全委員会委員長）
品川 邦汎（岩手大学特任教授）
長尾 拓（食品安全委員会委員）
◎廣瀬 雅雄（食品安全委員会委員）
（◎：座長）

4 議題

- (1) 平成 23 年度に終了した研究課題の事後評価
- (2) 食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について

5 議事概要

- (1) 平成 23 年度に終了した研究課題の事後評価

平成 23 年度に終了した 5 課題について、第 14 回研究運営部会から提出された事後評価結果を了承し、その内容を、食品安全委員会へ報告することで合意した。

- (2) 食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について

本年 9 月に予定されている平成 25 年度の新規研究課題の公募の実施に先立ち、「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について（平成 22 年 12 月 16 日食品安全委員会決定、平成 23 年 12 月 15 日改正）」に基づき、具体的な研究領域を定めて提示する必要があることから、それに係る総括的な意見交換及び議論を行った。

議論の中では、これまでに実施された研究について、①食品安全委員会が公募する研究はリスク評価に資するべきという点について周知していたのではないかと、②研究の当初目的と研究開始後の研究者の試みに乖離が生じる場合があるのではないかと、等の指摘があった。

また、研究領域等では、③これまでに実施された研究成果が食品安全委員会が行うリスク評価にどう活用されたか分析した上で、今後の方向性について議論する必要があるのではないかと、④さらに個別具体的な研究領域を示すべきではないかと、⑤生物学関連のテーマの中には、リスク管理に近い分野のものがあるように見受けられる、等の意見が出された。

各委員の意見を参考に、今後、事務局において研究領域案の策定と、必要であれば、

「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について」の改正案を作成し、次回の調査・研究企画調整会議で具体的に検討することとなった。 以上